

- 問1 法隆寺の金堂に見られる、柱の中ほどに膨らみを持たせる「エンタシス」という技法や、その建築様式について正しく説明しているものはどれですか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------------|--------------------------------------|--|
| 1. ギリシャなどの西方文化の影響がシルクロードを経て伝わった、飛鳥文化の特徴を示している。 | 2. 日本独自の風土に合わせて発展した、優雅な国風文化の特徴を示している。 | 3. 禅宗の影響を受け、簡素で精神性を重んじた東山文化の特徴を示している | 4. 唐の先進的な文化を直接取り入れた、国際色豊かな天平文化の特徴を示している。 |
|--|---------------------------------------|--------------------------------------|--|
- 問2 飛鳥時代、推古天皇の摂政であった聖徳太子は、中国を統一した隋の高度な制度や文化を取り入れるために使節を派遣しました。607年にこの使節（遣隋使）として中国へ渡った人物の名前として正しいものはどれですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|-------|----------|
| 1. 小野妹子 | 2. 足利義満 | 3. 鑑真 | 4. 中大兄皇子 |
|---------|---------|-------|----------|
- 問3 法隆寺の五重塔などの伝統的な建築物には、地震の揺れを逃がす仕組みとして「心柱（しんぼしら）」という技術が使われています。この心柱の構造を応用し、中心部に鉄筋コンクリート製の筒を配置して制振効果を高めている現代の建造物を選びなさい。 (2020年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|-----------|-------------|
| 1. 東京都庁舎 | 2. 瀬戸大橋 | 3. 明石海峡大橋 | 4. 東京スカイツリー |
|----------|---------|-----------|-------------|
- 問4 7世紀前半、聖徳太子（厩戸王）や蘇我氏が活躍した時期に栄え、日本で最初の本格的な仏教文化となったものを何というか。 (2017年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 国風文化 | 2. 天平文化 | 3. 飛鳥文化 | 4. 白鳳文化 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問5 7世紀初め、推古天皇の摂政であった聖徳太子（厩戸王）は、中国の高度な制度や文化を学ぶために小野妹子らを派遣しました。このとき、小野妹子らが派遣された、南北に分かれていた中国を約300年ぶりに統一した王朝の名前として正しいものを選びなさい。 (2021年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 漢 | 2. 隋 | 3. 秦 | 4. 唐 |
|------|------|------|------|
- 問6 聖徳太子が建立した法隆寺に代表される、日本で最初の本格的な仏教文化について、その名称として正しいものを選びなさい。 (2024年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 東山文化 | 2. 国風文化 | 3. 天平文化 | 4. 飛鳥文化 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問7 飛鳥時代の出来事をまとめた年表において、遣隋使の派遣と同時期の国内体制の整備として位置づけられる法があります。聖徳太子（厩戸王）が役人の心得を示すために制定し、天皇を中心とした国づくりの基礎となったものを何といいますか。 (2020年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|----------|-----------|
| 1. 五箇条の御誓文 | 2. 大宝律令 | 3. 御成敗式目 | 4. 十七条の憲法 |
|------------|---------|----------|-----------|
- 問8 聖徳太子らが603年に定めた「冠位十二階」という制度の目的を説明したものとして、最も適切な記述を選びなさい。 (2020年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 天皇の権力を制限するために、有力な豪族たちが話し合いで政治を行う仕組みを作ること | 2. 自ら新しく開墾した土地について、期限を設けずに永久に私有することを認めること | 3. 家柄や氏族の勢力に関わらず、個人の才能や功績に応じて優秀な人材を役人に採用すること | 4. 仏教を国家の教えとして広めるため、各地に国分寺や国分尼寺を建立すること |
|---|---|--|--|
- 問9 7世紀後半、日本（倭国）は朝鮮半島の西南部に位置する地域へ大規模な軍隊を派遣し、唐・新羅の連合軍と衝突しました。この戦いが起こった直接的な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 友好関係にあり、当時滅亡していた百済の復興を支援するため | 2. 新羅と軍事同盟を結び、半島北部の高句麗を制圧するため | 3. 九州北部を襲撃した刀伊と呼ばれる集団の正体を突き止めるため | 4. 博多に侵攻してきた元の軍隊を、朝鮮半島の拠点で迎え撃つため |
|---------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
- 問10 当時の有力な豪族の家系図において、蘇我稲目の子であり、推古天皇や聖徳太子とも深い血縁関係を持つ人物が行った政治的行動として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|---|-------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 武士団を組織して平氏を打倒し、征夷大將軍となって幕府を開いた。 | 2. 仏教の採用に反対する勢力を退け、大陸の新しい文化や制度を取り入れて国家の近代化を図った。 | 3. 遣隋使の派遣を停止し、日本独自の国風文化を育てることに専念した。 | 4. 検地や刀狩を行い、兵農分離を進めることで社会の安定を目指した。 |
|------------------------------------|---|-------------------------------------|------------------------------------|
- 問11 7世紀半ば、朝鮮半島では新羅が唐と結んで勢力を広げ、百済を滅ぼしました。これを受けて、当時の日本（倭国）がとった行動とその結果として正しいものはどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 唐と結んで朝鮮半島での権益を確保しようとしたが、白村江の戦いで新羅の軍勢に敗北した。 | 2. 百済の再興を支援するために朝鮮半島へ大軍を送ったが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した。 | 3. 高句麗の再興を支援するために朝鮮半島へ大軍を送ったが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した。 | 4. 元（モンゴル帝国）の侵攻を阻止するために朝鮮半島へ出兵したが、文永の役で大敗を喫した。 |
|---|--|---|--|
- 問12 聖徳太子が定めた冠位十二階が、それ以前の日本の政治制度（氏姓制度）と決定的に異なっていた点はどこにありますか。 (2024年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|--|---|
| 1. 蘇我氏などの特定の有力豪族だけが、最高位を独占できるように設計された点。 | 2. 与えられた位がその個人一代限りのものであり、子孫には継承されない点。 | 3. 地方の豪族に対して、その土地の支配権を恒久的に保証する役割を持った点。 | 4. 中国の隋からの使者を接待するだけでなくに作られた、一時的な儀礼用の制度である点。 |
|---|---------------------------------------|--|---|
- 問13 7世紀、日本では中大兄皇子らが政治改革を進める一方で、朝鮮半島の情勢変化に対応した外交が行われました。唐によって滅ぼされた友好国の再興を支援するために倭（日本）が朝鮮半島へ大軍を派遣した出来事について、その目的と対戦相手の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2024年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------|
| 1. 百済の再興を支援するため、元（モンゴル）の軍隊と戦った | 2. 新羅の領土拡大を阻止するため、唐の軍隊と単独で戦った | 3. 高句麗の再興を支援するため、唐・新羅の連合軍と戦った | 4. 百済の再興を支援するため、唐・新羅の連合軍と戦った |
|--------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------|
- 問14 645年に中大兄皇子らが中心となって始まった大化の改新の後、日本は朝鮮半島での戦いに敗れ、外交・国防上の大きな転換期を迎えました。この時期の出来事について述べた文として最も適切なものはどれか。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した後、侵攻に備えて九州に水城を築き、都を近江大津宮へ移した。 | 2. 白村江の戦いの敗北を受けて、地方を統治する国司の権限を大幅に強め、各地方の豪族に独自の軍事権を与えた。 | 3. 白村江の戦いで新羅を援護して唐を退けた後、百済との同盟を強化して朝鮮半島での権益を拡大した。 | 4. 唐や新羅の脅威に対抗するため、中大兄皇子は天皇への即位を辞退し、蘇我氏とともに集団指導体制を敷いた。 |
|--|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ギリシャなどの西方文化の影響がシルクロードを経て伝わった、飛鳥文化の特徴を示している。	法隆寺の柱に見られる膨らみは、古代ギリシャの神殿などに見られる「エンタシス」と呼ばれる技法との関連が指摘されています。これは、当時の日本が朝鮮半島や中国だけでなく、シルクロードを通じて遠く西方の文化の影響も受けていたことを物語る、日本最古の仏教文化である飛鳥文化の重要な事例です。
問2	答え 1 小野妹子	聖徳太子は、中国の「隋」に「遣隋使」を派遣して大陸の優れた文化や政治制度を学ぼうとしました。607年には小野妹子が使節として送られ、隋の皇帝である煬帝に国書を届けました。これ以前の時代のように中国の皇帝に臣下として仕えるのではなく、主権国家として交流を図ろうとした重要な出来事です。
問3	答え 4 東京スカイツリー	五重塔の内部には中心を貫く独立した「心柱」があり、各層と固定されていないために地震の際に揺れを相殺する役割を果たしています。この古代からの知恵は、高さ634メートルを誇る東京スカイツリーの設計において「心柱制振」という最新技術として活用されており、歴史的な伝統技術が現代の先端建築の安全性を支える貴重な事例となっています。
問4	答え 3 飛鳥文化	聖徳太子が摂政を務めた推古天皇の時代を中心に、蘇我氏などの有力豪族が仏教を積極的に受け入れたことで形成された。大陸の技術や様式を直接的に取り入れ、寺院建築や仏像制作が盛んに行われた。
問5	答え 2 隋	聖徳太子は、中国の統一王朝である隋に対して「遣隋使」を派遣しました。それまでの朝鮮半島を通じた交流だけでなく、中国と直接国交を結ぶことで、先進的な仏教文化や政治制度を直接取り入れ、天皇を中心とする中央集権国家の確立を目指しました。
問6	答え 4 飛鳥文化	7世紀前半、聖徳太子が政治を執り行った時代を中心に栄えた文化を飛鳥文化と呼びます。法隆寺の建築や仏像などには、中国の南北朝時代の文化や、さらに西方のインドやギリシャの影響も見えて取ることができます。
問7	答え 4 十七条の憲法	聖徳太子（厩戸王）は604年にこの法を定めました。これは現代の憲法とは異なり、役人（官吏）が守るべき道徳や政治の心得を説いたものです。第一条の「和をもって貴しとなす」という言葉が有名であり、豪族たちの争いを鎮め、天皇に従う体制を整える目的がありました。
問8	答え 3 家柄や氏族の勢力に関わらず、個人の才能や功績に応じて優秀な人材を役人に採用すること	冠位十二階は、世襲によって官職が独占されていた当時の慣習を打破し、実力主義を取り入れることで天皇への忠誠心を高め、官僚制を確立しようとした制度です。冠の色を12段階に分けることで、視覚的にもその人物の地位が判別できるようになっていました。
問9	答え 1 友好関係にあり、当時滅亡していた百済の復興を支援するため	飛鳥時代の663年、日本は友好国であった百済の復興を助けるために大軍を派遣しましたが、唐・新羅の連合軍に白村江の戦いで大敗しました。この敗北を受け、日本は唐・新羅による本土侵攻を恐れ、大宰府の北側に水城を築いたり、各地に朝鮮式山城を作ったりして防衛体制を急いで整えることとなりました。選択肢にある「元」や「刀伊」は、それぞれ鎌倉時代や平安時代の中期の出来事であり、時代背景が異なります。
問10	答え 2 仏教の採用に反対する勢力を退け、大陸の新しい文化や制度を取り入れて国家の近代化を図った。	蘇我馬子は蘇我稲目の息子であり、自らの娘を天皇に嫁がせるなどして天皇家の外戚として強い権力を握りました。彼は仏教を積極的に受け入れることで、大陸の高度な技術を持つ渡来人と結びつき、古い慣習に縛られない新しい国家体制を目指しました。この過程で仏教反対派の物部氏と激しく対立しました。
問11	答え 2 百済の再興を支援するために朝鮮半島へ大軍を送ったが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した。	当時の朝鮮半島では、唐と新羅が連合して百済や高句麗を圧迫していました。660年に百済が滅亡すると、日本は古くから交流のあった百済の再興を助けるために朝鮮半島へ出兵しました。しかし、663年に錦江の河口付近（白村江）で行われた戦いにおいて、唐・新羅の連合軍に圧倒的な軍事力の差で敗れました。これにより、日本は朝鮮半島における拠点を完全に失うこととなりました。
問12	答え 2 与えられた位がその個人一代限りのものであり、子孫には継承されない点。	冠位十二階の最大の特徴は、従来の世襲制による地位の独占を打破しようとした点にあります。位は功績を挙げた「個人」に対して授けられ、本人が死ぬと返上されたため、家柄に関係なく常に有能な人材を求めることができました。これにより、豪族たちの勢力を抑え、天皇の権威を強めることを目的としていました。
問13	答え 4 百済の再興を支援するため、唐・新羅の連合軍と戦った	660年に唐と新羅の連合軍によって百済が滅ぼされると、倭（日本）は友好国であった百済の遺臣から救援を求められました。中大兄皇子は百済を再興させるために朝鮮半島へ大軍を送りましたが、663年に白村江（はくすきのえ）で唐・新羅の連合軍と衝突し、倭の水軍は壊滅的な打撃を受けて大敗しました。この敗北は、その後の日本の国内体制の整備や防衛強化に大きな影響を与えました。
問14	答え 1 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した後、侵攻に備えて九州に水城を築き、都を近江大津宮へ移した。	中大兄皇子は百済復興のために軍を派遣しましたが、663年の白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗しました。その後、日本への侵攻を恐れた中大兄皇子は、九州に防衛施設である水城や山城（朝鮮式山城）を築き、都を内陸の近江大津宮（滋賀県）へ移して防衛を固めました。天智天皇として即位するのちこの時期のことです。